

統合実習

実習要項

## 統合実習

### I 目的

チーム医療を担う看護専門職の役割を理解し、臨床判断思考を活用しながら看護を実践する能力を養う

### II 実習目標

- 1 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数の対象へ看護を実施できる。
- 2 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する。
- 3 看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。
- 4 対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護について考える。
- 5 看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。

### III 評価規準 (めざす姿)

- 1 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象のねがう姿に向かい個別性のある看護を実施している。
- 2 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。
- 3 看護専門職者としての自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。
- 4 対象の人権を尊重し、対象に沿った看護の大切さについて考えている。
- 5 医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。

### IV 単位と時間数及び実習場所

3単位

90時間

静岡市立清水病院

	実習場所	実質時間数		実習時期
学内OT 病棟OT 看護部門OT	学内 各病棟 救急外来・外来	9.0時間	1日間	3年
日勤実習	各病棟	45.0時間	5日間	
夜間実習	各病棟	9.0時間	1日間	
看護管理実習	各病棟または看護部門	9.0時間	1日間	
看護部門実習	手術室・外来・内視鏡室・外来透析 化学療法室・救急外来・検査入院センター 6か所のうち1か所で実習	9.0時間	1日間	
多職種連携実習	薬剤科・検査科・栄養科・放射線科 臨床工学科・リハビリテーション科 6か所のうち1か所で実習	9.0時間	1日間	
計		90時間	10日間	

## V. 学習内容 学習活動とその方法

学習活動	学習内容・方法	評価規準	評価資料
<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数の対象へ看護を実施できる。</p>	<p><u>実習1日目</u> 8:30~16:15</p> <p>◎病棟や部門の特徴から、行われている看護を知り、臨床推論を行う情報として活用する。</p> <p>〈病棟オリエンテーション・情報収集〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟指導者より病棟の特徴、看護業務の1日の流れ病棟の構造、物品配置場所、入院対象の概要、看護方針などの説明を受ける。</li> <li>・病棟にて受け持ち対象の情報収集を行う。</li> <li>・病棟管理者より、管理者の役割と意義、管理を行う上で留意点について説明を受ける。</li> <li>・受け持ち対象に挨拶、情報収集、情報の分析、問題点の抽出、看護ケアのポイントを考える。</li> </ul> <p>〈外来・救急外来オリエンテーション〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来・救急外来師長より各外来の特徴や看護についての説明を受ける。</li> </ul>	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象のねがう姿に向かい個別性のある看護を実施している。</p>	
	<p><u>見学実習</u> 8:30~16:15</p> <p>◎日勤看護師と共に行動をし、看護ケア・カンファレンスなどと一緒にすることで、複数の対象を同時に看護する視点・優先順位などの臨床判断や協同について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理報告、病棟カンファレンスを聞く。</li> <li>・担当看護師に挨拶をし、本日の目標を伝える。</li> <li>・看護師の行動を見学し、援助を一緒に行う。</li> <li>・担当看護師の行動から複数の受け持ちを看護する中で何を優先してケアを実施しているか考え、ケア時の留意点を確認する。(担当看護師に合わせて休憩をとる)</li> <li>・日勤実習で、または4月から看護師として働くことを意識しチームの一員としてどのように行動したらいいか考える。</li> <li>・自ら看護師と調整し実施できるケアを積極的に行う。</li> </ul> <p>〈学生カンファレンス〉 15:00~16:00 (病棟指導者と相談して時間決定) テーマ: 複数の対象を受け持ち、看護を展開する上で重要なことは何か</p>	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象のねがう姿に向かい個別性のある看護を実施している。</p>	<p>統合実習記録用紙 I 実習状況 個別支援</p>

<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数の対象へ看護を実施できる。</p>	<p><u>日勤実習1日目または患者変更初日</u> 8：30～16：15</p> <p>◎複数の対象の看護を通して、対象のねがう姿に近づくための臨床判断（優先順位など）や看護の専門性を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象2名を1名の学生で受けもつ。</li> <li>・どの対象を受け持つかは対象の健康状態や経過、重症度、治療、検査、患者のスケジュールにより学生間、担当看護師と相談して決める。</li> <li>・行動計画は技術達成状況と対象者の状況などをアセスメント・判断し、時間配分を考慮して立案する。</li> <li>・朝のカンファレンスの前にカルテからの情報収集や対象のもとを訪室し対象の状態を把握、行動計画を見直し変更があれば修正を行う。</li> <li>・管理報告、病棟カンファレンスを聞き、受けもち対象や病棟内での看護統一事項など、話し合われている内容を確認する。</li> <li>・担当看護師に実習目標、行動計画を伝え、アドバイスをもらう。</li> <li>・対象者、家族、カルテなどより情報収集を行い、対象の状態を把握する。収集した情報より、対象の問題点を抽出し、ケアのポイントを挙げ、看護の方向性について担当看護師からアドバイスを受ける。</li> <li>・行動計画は対象のねがう姿に向け、ケアの優先順位や看護師との調整、ケアの根拠を明確にする。</li> <li>・行動計画に沿って対象の援助を実施、評価を行い、翌日の看護実践につなげる。</li> <li>・翌日の複数の対象者の看護計画を立案するために優先度の考え方、ケアについて担当看護師よりアドバイスを受ける。</li> <li>・受け持ち看護師から日勤チームリーダーへの報告を聞き、受け持ち対象の状態やケアの方法を共有する手段を学ぶ。</li> <li>・複数の受け持ち対象者への援助を実施し、望ましい姿になったのか、援助の方法は対象の状態に沿った方法であったのか、実習目標は到達できたのか、本日の学びについて担当看護師と振り返る。</li> <li>・翌日の援助の相談を行い、アドバイスをもらう。</li> <li>・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。</li> </ul>	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象のねがう姿に向かい個別性のある看護を実施している。</p>	<p>統合実習記録用紙Ⅱ・Ⅲ</p> <p>実習状況個別支援</p>
	<p><u>日勤実習2日目～4日目（複数の対象の看護）</u> 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスでは受け持ち対象の昨夜～朝の情報、受け持つ上で注目していること、計画しているケアについて発表する。</li> <li>・担当看護師に実習目標、行動・根拠や優先順位・計</li> </ul>	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象のねがう姿に向かい個別性のある看護を実施してい</p>	<p>統合実習記録用紙Ⅱ・Ⅲ</p> <p>実習状況個別支援</p>

<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数の対象へ看護を実施できる。</p>	<p>画を伝え、アドバイスをもらいプランの修正を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画しているケアの根拠や優先順位を伝え、ケアが実施できるように担当看護師と調整を行う。</li> <li>・受け持ち対象への援助を調整・計画に基づいて実施し、記録・報告を行う</li> <li>・受け持ち対象の清拭・陰部洗浄、体位変換などのケアに入り、対象の状態を把握する。</li> <li>・病棟のスケジュールに沿って受けもち対象者や以外の清拭・陰部洗浄、体位変換などのケアにも積極的に参加し、様々な臨床推論や判断を看護師のアドバイスを受ける。</li> <li>・複数の受けもち対象への援助を実施し、ねがう姿になったのか、援助の方法は対象に沿った方法であったのか、実習目標は到達できたのか、本日の学びについて担当看護師と振り返る。</li> <li>・翌日の援助の相談をしてアドバイスをもらう。</li> <li>・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける</li> </ul>	<p>る。</p>	
<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<p>◎様々な看護が提供される場から対象のねがう姿に近づくための看護がそのように行われているかを学び、病棟と看護部各部門との看護連携や看護のあり方について学ぶ。</p> <p><u>日勤実習1日～4日目</u> 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち対象の医療部門での検査・治療やリハビリテーション、転棟、退院の際にどのような連携がとられているか学ぶ。</li> <li>・担当看護師から日勤チームリーダー看護師への連絡・報告・相談を聞き、看護師間での連携について学ぶ。</li> </ul> <p><u>見学実習</u> 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理報告、病棟カンファレンスを聞く</li> <li>・担当看護師に挨拶をし、本日の目標を伝える。</li> <li>・看護師の行動を見学し、援助を一緒に行う。</li> <li>・担当看護師の行動から複数対象を受け持つ中で何を優先してケアを実施しているか考え、ケア時の留意点を確認する。(担当看護師に合わせて休憩をとる)</li> <li>・来年4月から看護師として働くことを意識しチームの一員としてどのように行動したらいいか考える。</li> <li>・自ら看護師と調整し実施できるケアを積極的に行う。</li> </ul> <p><u>看護管理実習</u> 8：30～16：15</p> <p>◎管理(リーダー)からの病棟や対象への視点を学び、チーム医療での多角的視点やメンバーとしての役割を考える</p>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	<p>統合実習 記録用紙 II・III</p> <p>実習状況 個別支援</p> <p>統合実習 記録用紙 I</p> <p>実習状況 個別支援</p> <p>統合実習 記録用紙 IV</p> <p>実習状況 個別支援</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理について復習し実習に望む。</li> <li>・看護師長に挨拶を行い、実習目標を伝える。</li> <li>・看護師長の業務を見学し、看護管理の具体的方法を知る。</li> <li>・看護管理者としてどのようにスタッフや対象、家族との関わっているのか知る。</li> <li>・病棟管理を行う上で医師、医療部門・他病棟・外来との連携の取り方を見学する。</li> <li>・看護師長に合わせて休憩を取る。</li> <li>・看護管理に対する自己の考えを深め、看護を実践するための連携について考える。</li> <li>・看護師長に質問や学びを伝え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p style="text-align: center;">実習前：実習目標のみ記述、 実習後：実施内容、実習を通してしてわかったこと・考えたことを記述</p>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	
	<p>◎夜間実習 14:15～21:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日の病棟オリエンテーションで夜勤勤務帯のタイムスケジュール、業務について説明を受ける。</li> <li>・実習当日、夜間担当教員よりオリエンテーションを受ける。夜間実習の目標、何を学ぶ実習であるのか、学びたいのか、計画しているケア、夜間実習での動き、集合時間について確認する。</li> <li>・病院の更衣室でユニフォームに着替え集合時間に間に合うように病棟へ移動する。</li> <li>・受け持ち対象の情報収集を行う。</li> <li>・夜間勤務帯に必要な準備の実際を見学する。</li> <li>・夜間実習の学生担当看護師、他の夜勤看護師に挨拶する。</li> <li>・学生担当看護師に実習目標と日勤実習で受け持った対象1名に対して、学生が実施できるケアの相談を行う。</li> <li>・日勤看護師からの申し送りに参加し、夜間勤務帯の看護に必要な情報を把握する。</li> <li>・夜勤看護師間で行われるカンファレンスを見学、また自分が行うケアについて目的・根拠・方法を伝える。</li> <li>・計画したケアを看護師と調整し実施する。</li> <li>・夜間帯の対象の状態の理解と看護の役割について学ぶ。</li> <li>・夜間の安全管理、夜間勤務帯のケアの調整方法、看護師間の連携の回り方を学ぶ。</li> <li>・就寝時の看護について学ぶ。</li> <li>・実習終了前に担当看護師と振り返りを行う。</li> </ul> <p>※21:00 終了→2階エレベーター前集合</p>	<p>*夜間実習の集合時間は全員同じ時間。 各病棟の夜間実習開始時間は、病棟の看護状況によって変動する。</p>	<p>統合実習 記録用紙 IV  実習状況 個別支援</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<p><u>看護部門実習</u> 8：30～16：15</p> <p>外来・救急外来・手術室・内視鏡室・透析外来化学療法室・検査入院センター 7か所のうち1か所で実習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習したことを復習して実習に臨む。</li> <li>・各実習場所の集合時間に合わせ移動する。</li> <li>・記録：実習前：実習目標のみ記述 実習後：実施内容、実習を通してしてわかったこと・考えたことを記述</li> </ul> <p><b>【外来・検査入院センター実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：10に外来師長室へ集合</li> <li>・外来師長室にて挨拶を行い、担当看護師に本日の目標を伝える。</li> <li>・外来診察開始前の打ち合わせを見学し、対象を迎えるための準備について学ぶ。</li> <li>・担当看護師とともに各外来へ移動する。</li> <li>・外来を受診する対象の受診の流れを知る。</li> <li>・外来業務を見学し、医師、病棟、他科外来、各部門とどのように連携しているのか学ぶ。</li> <li>・該当病棟の診療科の外来において、受診する対象の状況を把握する。</li> <li>・外来看護師としての対象への関わり方、観察の視点留意点を学ぶ。</li> <li>・退院後の対象の状況、入院に至る経過を理解し、看護の役割について考える。</li> <li>・外来診察終了後の看護師の行動にも注目し翌日の外来診察のための準備について知る。</li> <li>・休憩は担当看護師に合わせて取る。</li> <li>・対象の身体的特徴や言動、思いにも注目し看護師の行動の理由を考える。</li> <li>・担当看護師と振り返りを行い、外来看護への質問や学びを伝える。</li> </ul> <p><b>【救急外来実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：10までに救急外来看護室に移動し学生担当看護師を確認、挨拶をする。</li> <li>・8：15～の朝の打ち合わせを見学する。</li> <li>・学生担当看護師とともに行動してケアの実際を見学する。</li> <li>・自己の技術到達度や事前学習内容を担当看護師に相談し、実施可能な援助は看護師と共に実施する。</li> <li>・緊急に受診が必要である対象の看護について考える。</li> <li>・救急外来の看護師が医師、病棟、他科外来、各部門とどのように連携しているのか学ぶ。</li> </ul>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	<p>統合実習 記録用紙 IV 実習状況 個別支援</p>
---	--	---	---

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急外来の役割や入院調整の実際について学ぶ。</li> <li>・対象や家族はどのような状況でどのような思いでいるのかにも注目し必要な看護について考える。</li> <li>・実習終了前に担当看護師と振り返りを行う。</li> <li>・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。</li> </ul> <p><b>【手術室実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：15に手術室更衣室へ移動しツーピースタイプの手術着に着替える。</li> <li>・手術着の左胸に実習用名札をつける（紐は外す）</li> <li>・手術室の看護室にて挨拶をする。 持ち物はメモ帳と筆記用具、看護技術チェックリストのみとする。</li> <li>・担当看護師に実習目標を伝え、朝のカンファレンスに参加する（対象の情報を確認する）</li> <li>・担当する対象の同意は手術室入室時看護師が同意を取るなのでその時の状況に応じ挨拶を行う。</li> <li>・手術室で行われていることを見学する。 対象の受け入れの準備 手術室で行われている看護技術の見学および実施 手術室の医療チームの連携 手術室で行われている医療安全の具体的な方法 手術室と病棟との連携・継続看護の方法</li> <li>・担当看護師に合わせて休憩を取る。</li> <li>・看護技術到達度チェックリストを持参し、昼休み、15：00以降に確認をして、担当看護師にサインをもらう。</li> <li>・担当看護師と振り返りを行い、手術室看護への質問や学びを伝える。</li> </ul> <p><b>【内視鏡室実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：10に透析室看護室に行き学生担当看護師を確認、挨拶をする。</li> <li>・8：15～透析室で行われる打ち合わせを見学する。</li> <li>・学生担当の看護師と行動する。</li> <li>・内視鏡検査の実際を知る・内視鏡室の業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携、看護の役割について考える。</li> <li>・内視鏡検査を受ける対象の理解を深め、対象に必要な看護を考える。</li> <li>・実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、内視鏡室の看護への質問や学びを伝える。</li> </ul> <p><b>【透析化学療法室実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：10に透析化学療法室看護室に行き学生担当看護師を確認、挨拶をする。</li> </ul>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	<p>統合実習 記録用紙 IV 実習状況 個別支援</p>
---	---	---	---

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 : 1 5 ~ 透析室に行われる打ち合わせを見学する。</li> <li>・ 学生担当の看護師と行動する。</li> <li>・ 透析室で行われている看護の実際を知る。</li> <li>・ 透析治療を受ける対象の理解を深め必要な看護を考える。</li> <li>・ 透析室の看護業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携について考える。</li> <li>・ 透析療法を受けている対象や家族の思い、地域で暮らす生活のしづらさについて知る。</li> <li>・ 実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、透析室の看護への質問や学びを伝える。</li> </ul> <p><b>【外来化学療法室実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学療法室の学生担当の看護師と行動する。</li> <li>・ 化学療法室の業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携、看護の役割について考える。</li> <li>・ 化学療法を受けている対象や家族の思い、地域で暮らす生活のしづらさについて知る。</li> <li>・ 化学療法室を受ける対象の理解を深め必要な看護を考える。</li> <li>・ 実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、化学療法室の看護への質問や学びを伝える。</li> </ul>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	<p>統合実習 記録用紙 IV</p> <p>実習状況 個別支援</p>
	<p><u>多職種連携実習（医療部門実習）</u> 8 : 3 0 ~ 1 6 : 1 5</p> <p>◎医療部門実習で、他職種からの対象への視点・看護に求めることについて考え、多職種・医療チームとしての看護の役割を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬剤科・検査科・栄養科・放射線科・臨床工学科 リハビリテーション科の6か所のうち1か所で実習</li> <li>・ 各医療部門について既習したことを復習して実習に臨む。</li> <li>・ 各医療部門の業務や役割を知り、看護との連携、医療チームにおける看護師の役割について考える。</li> <li>・ 指定時間までに実習場所に行き、学生担当者を確認挨拶し実習目標を伝える。</li> <li>・ 実習終了前に振り返りの時間を作っただき、質問や学びを伝え、アドバイスを受ける。アドバイスは記録に反映させる。</li> <li>・ 医療チームの役割や看護との連携について、学びや自己の考えを明確にする。</li> </ul> <p><b>【薬剤科実習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 : 1 5 に1階正面玄関薬剤受け渡しカウンターに移動し学生担当者に挨拶、実習目標を伝える。</li> <li>・ 薬剤処方→調剤→払い出し、一連の流れを理解する。</li> </ul>		<p>統合実習 記録用紙 IV</p> <p>実習状況 個別支援</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え、看護の役割を理解する。</p>	<p>外来窓口での対象への対応を見学し、薬物療法を受ける対象の特徴を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬指導の場面の見学を通して、対象に沿った指導のポイントについて理解を深める。</li> </ul> <p>【検査科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：55に2階検査室受付に移動し学生担当者に挨拶、実習目標を伝える。</li> <li>・検査科で行われている検査の実際を知る。</li> <li>・採血などの検体の検査方法を知り、検査における看護師の役割について理解を深める。</li> </ul> <p>【栄養科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：25に2階栄養科へ移動し学生担当者に挨拶、実習目標を伝える</li> <li>・病院食の処方から、調理、配膳までの流れを理解する。</li> <li>・治療食の理解を深める。</li> <li>・栄養指導の見学を通して、対象に沿った指導ポイントの理解を深める。</li> </ul> <p>【放射線科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：20に1階放射線科受付横の入り口。から入り、学生担当者に挨拶、実習目標を伝える</li> <li>・放射線科での検査の実際を知る（CT・MRI・アンギオ等の見学）</li> <li>・放射線科で行われている検査や治療に関わる看護師の役割について学ぶ。</li> <li>・検査や治療を受ける対象の理解を深める。</li> </ul> <p>【リハビリテーション科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：20に1階リハビリテーション科へ移動し、学生担当者に挨拶、実習目標を伝える</li> <li>・リハビリテーションの実際を知る。</li> <li>・リハビリテーションを受ける対象を理解する。</li> </ul> <p>【臨床工学科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8：20に新館4F 透析室にある臨床工学室に移動し学生担当者に挨拶、実習目標を伝える。</li> <li>・臨床工学科での業務の実際を知る。</li> <li>・臨床工学技士が関わる対象の理解を深める。</li> </ul>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。</p>	<p>統合実習記録用紙IV 実習状況個別支援</p>
<p>3. 看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。</p>	<p>◎各実習を通して、「看護専門職者とは」を考え、カンファレンスや自己の言葉で表現できる。 ◎各実習を通して、事前レポートで明確にした自己の課題と取り組みについて意識して行動し、課題がどうであったかを考察・明記できる。  (学内カンファレンス)</p>	<p>3. 看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。</p>	<p>統合実習記録用紙I～IV カンファレンス 実習状況個別支援</p>

<p>3. 看護専門職者として 自己の課題を明確にして取り組むことができる。</p>	<p>①実習前の取り組み：自己の課題の明確化 【事前レポートについて】 テーマ：『看護専門職者として働くうえで自己の課題と実習での取り組み』について具体的に記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前レポートは、看護専門職者として働くことを意識して、自己の課題を明確に表現する。またその課題に対してどのように考え行動しようとしているのかを述べる。</li> <li>・自己の課題を明確にするために①対象理解②倫理観③探求心④実践力⑤調整力の5つの視点について6 クール目までの実習場面をあげ自分の課題を具体的に表現する。</li> <li>・事前レポートは指定の記録用紙に記述する。</li> <li>・実習 OT 時、学内で自己の課題についてグループ間で発表し、メンバーより助言を受ける。「できない」ことばかりにこだわらず、「できているところ、看護をしていく上で強みとなること」も見出していく。</li> </ul> <p>②実習 OT 時に、事前レポートで明確にした自己の課題について学生間で意見交換を行う。</p> <p>③〈学生カンファレンス〉 15：00～16：00 各自の日勤最終日に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『看護専門職者として働く上で大切にしたいこと』を話し合い、自己の傾向をふまえ、どのような看護師を目指したいか考える。</li> <li>・複数の対象を受けもち、看護を展開する上で大切となることは何かを考える。</li> <li>・事前レポート、事前カンファレンスで明確にした自己の課題を改善するための取り組みはどうであったか</li> <li>・統合実習での学びなどを視点にカンファレンスを行う。</li> </ul> <p>【実習後レポート】 テーマ：『統合実習を通して学んだことと看護専門職者としての自己の歩み』：原稿用紙3枚以上 実習記録の最終提出日に記録ファイルに綴じて提出</p>	<p>3. 看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。</p>	<p>統合実習記録用紙 I～IV カンファレンス 実習状況 個別支援</p>
<p>4. 対象の人権を尊重し 対象の思いに沿った 看護について考える。</p>	<p>◎対象との関わりを通して、対象の人権を尊重し、対象のねがう姿・思いに沿った看護の必要性・重要性や大切さなどの根拠を明確して明示化できる</p> <p><u>日勤実習 1日目～4日目 (複数の対象の看護)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の対象の入院生活を送る上での生活のしづらさや思いについて考える。</li> <li>・対象の羞恥心やプライバシーに配慮し、対象の思いに沿った計画を立てる。</li> <li>・複数の対象を受け持つ中で看護師がどのように人権</li> </ul>	<p>4. 対象の人権を尊重し 対象に沿った看護の大切さについて考えている。</p>	<p>統合実習記録用紙 I～IV カンファレンス 実習状況 個別支援</p>

<p>4. 対象の人権を尊重し 対象の思いに沿った 看護について考える。</p>	<p>を尊重し対象に沿った看護を実施しているのか見学し、アドバイスを受ける。</p> <p><u>夜間実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の対象を受け持つ中で看護師がどのように人権を尊重し対象に沿った看護を実施しているか見学し、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p><u>管理実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者として対象の人権をどのように考えているか見学しアドバイスを受ける。</li> </ul> <p><u>看護部門実習</u></p> <p>【外来・検査入院説明センター実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来で診察を受ける対象の身体的特徴や言動、思いに注目し、どのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・外来看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p>【救急外来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急外来を受診する対象の言動、思いに注目し、どのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・救急外来看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p>【手術室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・手術室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p>【内視鏡室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡検査を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・内視鏡室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p>【透析室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透析治療を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・透析室看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul> <p>【外来化学療法室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学療法を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。</li> <li>・化学療法室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。</li> </ul>	<p>4. 対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている。</p>	<p>統合実習 記録用紙 I～IV カンファレンス 実習状況 個別支援</p>
--	---	---	---

## V. 事前・事後レポート、学生カンファレンス

学習内容・学習項目を確認すること

## VI. 記録提出方法 (1～9の順序でファイルに綴じ、提出期限までに実習担当教員に提出)

1. 実習評価表
2. 事前レポート
3. 事後レポート
4. 統合実習 記録用紙Ⅰ
5. 統合実習 記録用紙Ⅱ (対象A・B・C・Dへの順に綴じる/対象ごとにインデックスをつける)
6. 統合実習 記録用紙Ⅲ
7. 統合実習 記録用紙Ⅳ
8. 作成した資料 (コピー可)
9. 修正前の記録

統合実習 学生配置表(例)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
病棟	学生	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )
1G		OT	日勤(見学)	放射線	日勤	日勤	外来	日勤	日勤	夜間	管理
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	手術室	日勤	日勤	管理	臨床工学
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	管理	内視鏡	薬剤	夜間	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	薬剤	夜間	救急	日勤	日勤	管理
		OT	日勤(見学)	検査	夜間	日勤	日勤	管理	外来化学療法	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	管理	リハビリ	日勤	日勤	夜間	HCU	日勤	日勤
2G		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	外来	日勤	日勤	放射線	管理
		OT	日勤(見学)	手術室	入退院センター	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	透析	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	リハビリ
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	栄養	管理	日勤	日勤	夜間	HCU
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	管理	外来化学療法	放射線	夜間	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	夜間	管理	日勤	日勤	救急	検査	日勤	日勤
3G		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	外来	栄養	日勤	日勤	夜間	管理
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	外来	放射線
		OT	日勤(見学)	夜間	日勤	日勤	手術室	リハビリ	日勤	日勤	管理
		OT	日勤(見学)	検査	内視鏡	日勤	日勤	管理	夜間	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	管理	日勤	日勤	臨床工学	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	日勤(見学)	臨床工学	夜間	日勤	日勤	外来化学療法	管理	日勤	日勤
4G		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	管理	放射線	日勤	日勤	夜間	救急
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	HCU	栄養
		OT	日勤(見学)	検査	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	手術室
		OT	日勤(見学)	管理	薬剤	日勤	日勤	救急	夜間	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	臨床工学	管理	日勤	日勤	夜間	外来	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	夜間	日勤	日勤	内視鏡	リハビリ	日勤	日勤	管理
5G		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	臨床工学	夜間	日勤	日勤	管理	外来
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	透析	リハビリ
		OT	日勤(見学)	栄養	夜間	日勤	日勤	管理	HCU	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	検査	日勤	日勤	管理	夜間	日勤	日勤	入退院センター
		OT	日勤(見学)	管理	リハビリ	日勤	日勤	手術室	夜間	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	夜間	救急	日勤	日勤	検査	管理	日勤	日勤
6G		OT	日勤(見学)	管理	夜間	日勤	日勤	検査	外来	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	夜間	管理	日勤	日勤	手術室	薬剤
		OT	日勤(見学)	HCU	日勤	日勤	夜間	リハビリ	日勤	日勤	管理
		OT	日勤(見学)	日勤	日勤	管理	HCU	日勤	日勤	夜間	臨床工学
		OT	日勤(見学)	管理	栄養	日勤	日勤	夜間	内視鏡	日勤	日勤
		OT	日勤(見学)	夜間	日勤	日勤	透析	検査	管理	日勤	日勤

夜間実習

夜間実習:14:15までに登校

病棟での開始時間は確認してください

○自家用車使用学生

病棟	月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )
3階						
4階						
5階						
6階						
7A						
回復						
担当						



学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる。	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象のねがう姿に向かい個性のある看護を実施している。	対象理解 実践力 倫理観	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ カンファレンス 実習状況 個別支援	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象のねがう姿に向かい個性のある看護を実施している。  2 5	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象のねがう姿に向かい看護を実施している。  2 0	優先順位や根拠を考えた対象のねがう姿に向かい看護を実施している。  1 0	対象のねがう姿を表現し、看護を実施している。  3
医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する。	医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。	調整力 探求心	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ カンファレンス 実習状況 個別支援	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について自己の考えを具体的に表現している。  2 0	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について表現している。  1 5	多職種の業務や看護の役割について表現している。  5	多職種の業務のみ表現している。  3
看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。	看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。	探求心 実践力	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 事前・事後 レポート カンファレンス 実習状況 個別支援	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ、課題を改善するための取り組みと振り返りをしている。  2 5	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ課題を改善するための取り組みをしている。  2 0	看護専門職者として自己の課題と取り組みを表現している。  1 0	自己の課題のみを表現している。  3
対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護について考える。	対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている。	倫理観		対象を通し、人権の尊重や対象のねがう姿や思いに沿った看護の大切さなどを、根拠を述べながら具体的に記述している。  2 0	複数の対象を受け持つ中で対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護の大切さを記述している。  1 5	複数の対象を受け持つ中で対象の思いに沿った看護の大切さを表現している。  5	対象の思いについて考えている。  3
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している。  1 0	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。  5	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るという視点で自己の行動を振り返っている。  3	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。  0

欠課時間 ( )時間/90 時間
---------------------

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン